

# 新ごみ処理施設建設候補地選定に係る評価基準書

# 一次評価書

選定方法	公募方式					
No	記入例 ①					
区名	○地区					
所在地	○市○○					
面積 (㎡)	20,000					
国定公園・国立公園	該当なし					
県立自然公園 (九十九里自然公園)	該当なし					
鳥獣特別保護区	該当なし					
保存樹 (大木・古木)	該当なし					
保安林	一部該当					
地域森林計画で定める民有林	該当なし					
国有林	該当なし					
河川区域・河川保全区域	該当なし					
海岸保全区域	該当なし					
特別緑地保全地区及び緑地保全地区	該当なし					
首都圏近郊緑地保全区域	該当なし					
風致地区	該当なし					
農業振興地域	該当なし					
自然環境保全地域	該当なし					
郷土環境保全地域	該当なし					
史跡・名勝・天然記念物 (国・県・市) 位置	該当なし					
伝統的構造物群保全地区	該当なし					
歴史的風土特別保全地区	該当なし					
埋蔵文化財位置	該当なし					
動植物 (希少種) の生息地	該当なし					
水源地	該当なし					
都市公園 (2市・1町)	該当なし					
宅地造成工事規制区域	該当なし					
都市計画区域用途指定区域	該当なし					
景観形成区域	該当なし					
産廃処分場位置	該当なし					
砂防指定地	該当なし					
地すべり防止区域	全域該当					
急傾斜地崩壊危険区域	該当なし					
活断層	該当なし					

## 二次評価書

項目	条件	資格判定基準	根拠	資格判定（適・不適）		
				記入例 ○地区		
土地の面積	施設整備に必要な面積が確保出来ること。	有効敷地面積として 2.0ha 以上である。	—	適		
道路状況	搬入道路の確保が可能であること。	幹線道路に接している。または、整備が可能である。	供給処理施設の都市計画に関する手引き、千葉県廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱	不適		
土地の形状等	敷地造成工事が可能な地形であること。	形がいびつではなく、平坦である。	供給処理施設の都市計画に関する手引き	適		
周辺の状況	学校、保育所、病院、診療所、図書館又は特別養護老人ホームに係る土地の敷地境界からの距離が離れている。	概ね 100メートル以上離れている。	千葉県廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱	適		
	宅地の開発予定地（千葉県宅地開発事業指導要綱（昭和 50 年 1 月 1 日制定）の適用対象で関係者と事前協議中又は事前協議済みの土地で、未着工のもの）を含まないこと。		千葉県廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱	適		
	土地区画整理事業の予定区域（都市計画決定済み若しくはその手続中又は事業認可の事前協議中のもの）を原則として含まないこと。		千葉県廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱	適		
インフラ整備	ライフライン（水道、電気、電話等）の確保が可能であること。	上水道及び高圧電力の供給見込みが可能である。	—	不適		

# 最終評価書

評価項目		評価基準	採点		記入例 ○地区		
土地利用条件	① 搬入道路の状況	整備、拡幅等の必要性	大型車両の通行が可能な搬入道路が確保されていることが望ましい。	整備不要（幅員 6m）	5点	5	
			一部整備（拡幅）	3点			
			整備要（改良）	1点			
		主要幹線道路からの距離	500m未満	5点	5		
			500m以上～1.5km未満	3点			
			1.5km以上	1点			
	② 土地利用の現況	地域住民の利用状況	多くの住民が利用する場所や、避難指定場所等でないことが望ましい。	該当なし	5点	5	
				一部該当	3点		
				全域該当	1点		
		土地利用規制	法令等による土地利用規制が少ないことが望ましい。	該当なし	5点	5	
				一部該当	3点		
				全域該当	1点		
③ 地形の状況	地形の状況	できるだけ平坦地であることが望ましい。	施設配置や動線計画にも支障が無い	5点	5		
			形状がいびつ等の理由により、施設配置や動線計画に支障を受ける	1点			
④ 災害等の安全性	液状化しやすいマップ	地震による液状化の少ないことが望ましい。	地震による液状化が無い	10点	10		
			地震による液状化がしにくい	5点			
			地震による液状化がしやすい	1点			
	津波ハザードマップ	地震による津波の影響が少ないことが望ましい。	地震による津波の影響が無い	10点	10		
			地震による津波の影響が 2.0m 未満である。	5点			
			地震による津波の影響が 2.0m 以上である。	1点			
	洪水ハザードマップ	大雨による洪水の影響が少ないことが望ましい。	大雨による洪水の影響が無い	5点	5		
			大雨による洪水の影響が 2.0m 未満である。	3点			
			大雨による洪水の影響が 2.0m 以上である。	1点			

収集・処理条件	⑤ 収集運搬効率	収集運搬距離	収集運搬距離ができるだけ短いことが望ましい。	管内中心地より 5k m未満	5点	5		
				管内中心地より 5k m以上～10k m未満	3点			
				管内中心地より 10k m以上	1点			
	⑥ 水道・電気等の確保	整備の必要性		水道・電気等の引込みが容易であることが望ましい。	水道・電気の引き込みが容易である	5点	5	
					電気のみ引き込みが容易である	3点		
					水道のみ引き込みが容易である	1点		
	⑦ 関連施設との位置関係	搬出先との距離		残渣等搬出先の大網最終処分場までの距離が短い方が望ましい。	5k m未満	5点	5	
					5k m以上～10k m未満	3点		
					10k m以上	1点		
周辺条件	⑧ 近隣施設の状態	住居との距離	住居までの距離は、遠い方が望ましい。	500m以上である。	5点	5		
				300m以上 500 未満である。	3点			
				300m以内である。	1点			
		交通集中施設の有無	交通集中施設から遠い方が望ましい。また、近接する道路は混雑していない方が望ましい。	交通集中施設から遠く、且つ近傍の道路渋滞は無い	5点	5		
				交通集中施設から近いが収集車等による渋滞悪化は無い	3点			
				既に渋滞があり、収集車等による渋滞が懸念される	1点			
	学校・病院等との距離	学校・病院等との距離は、遠い方が望ましい。	500m以上である。	5点	5			
			300m以上 500 未満である。	3点				
			100m以上 300m未満である。	1点				
⑨ 周辺環境	搬入車両の影響	搬入道路が繁華街や住宅街を通過しないことが望ましい。	通過しない	5点	5			
			通過する	1点				
周辺景観との調和	周辺景観と違和感が生じないことが望ましい。	周辺景観への影響は無い。	5点	5				
		周辺景観への影響がある。	1点					
合意形成	⑩ 用地取得の難易	地権者	地権者が少ない方が望ましい。	(5点×最も少ない地権者数/地権者数)	比例配点	5		
			物権等が少ない方が望ましい。	解除が厳しい物権等がない。	5点			5
	⑪ 近隣住民の状況	建設計画への理解度、協力度	候補地周辺の方の理解度及び協力度合いが高い方が望ましい。	理解度及び協力度合いが高い	20点	20		
				理解度及び協力度合いが低い	10点			
理解度及び協力度合いが著しく低い	1点							
経済性	⑫ 用地取得	用地取得概算費用	⑫ から⑮の概算費用(合計費用)の最も少ない候補地を30点とし、その他は比例配点(30点×最も少ない概算費用/概算費用)	比例配点	30			
	⑬ 敷地造成コスト	敷地造成工事概算費用						
		搬入道路工事概算費用						
	⑭ ライフライン(水・電気)	給水工事概算費用						
		電気供給工事概算費用						
⑮ 収集運搬	収集運搬費概算費用							
合 計						150		

総合評価	記入例		
	○地区		
	例：項目毎の評価が高く、特に周辺住民の理解度及び協力度合いが高かった。		
1位 (最終候補地決定) 150点			